

教員氏名	上村 晶	職位	教授
最終学歴	信州大学大学院 教育学研究科 修士課程修了 名古屋市立大学大学院 人間文化研究科 博士後期課程修了		
学位	修士（教育学）・博士（人間文化）		
役職	教務部長	委員会	連合運営協議会、大学評議会、大学評価委員会、教務委員会、共通教育委員会、教職課程委員会、FD委員会、アクセシビリティ委員会
担当科目	【学部】保育者論、保育カリキュラム論、保幼小連携基礎論、教育実習指導Ⅲ、教育実習Ⅲ、教育・保育学特講Ⅱ、教職実践演習(幼/小)、基礎演習Ⅰ/Ⅱ、総合演習ⅡA/ⅡB、卒業研究演習Ⅰ/Ⅱ、卒業研究 【大学院】幼児教育学特論Ⅰ/Ⅱ、課題研究Ⅰ/Ⅱ/Ⅲ/Ⅳ		
教科書・教材・教育方法の実践例	<ol style="list-style-type: none"> 『カタログ TEA』(2023.02), 共著, 新曜社 『コンパス：子ども理解 —エピソードから考える理論と援助』(2021.04), 共著, 建帛社 『保育・幼児教育・子ども家庭福祉辞典』(2021.05), 共著, ミネルヴァ書房 『保育カリキュラム論 —計画と評価—』(2019.03), 共著, 建帛社 『保育実践を学ぶ保育内容「人間関係」第2版』(2018.4), 共著, みらい 		
教育研究業績	<ol style="list-style-type: none"> 『保育者は子どもとどのようにわかり合おうとするのか』単著, 風間書房, 2022.01. 『幼児の「遊び込み」に関する実践的研究 —5歳児が遊びこむ姿に着目して—』共著, 桜花学園大学保育学部研究紀要, 第29号, pp.89-106, 2024.03. 『Covid-19に伴う協力登園は保育者と子どもの関係構築にどのような影響をもたらしたのか』単著, 桜花学園大学保育学部研究紀要, 第27号, pp.1-14, 2023.03. 『保育者と子どもの関係性を可視的に描く意義』単著, 桜花学園大学保育学部研究紀要, 第26号, pp.9-23, 2022.11. 『初任保育者における子ども理解のゆきづまりの構造』単著(査読有), 保育学研究, 第59号(1), pp.57-68, 2021.08. 『保育者のキャリア発達に応じた子どもとの“わかり合い”の差異』単著, 桜花学園大学保育学部研究紀要, 第24号, pp.1-20, 2021.11. 『幼児期における主体的・対話的で深い学びに関する一考察 —幼児期の教育における見方・考え方との関連性から—』共著, 桜花学園大学保育学部研究紀要, 第21号, pp.157-178, 2020.3. 『「年度途中のクラス担当者変更」は保育者と子どもの関係構築プロセスにどのような影響をもたらすのか：保育者の葛藤の諸相に着目して』単著(査読有), 保育学研究, 第57号(3), pp.32-43, 2019.12. 『教育実践をデザインする幼稚園教諭の視点と役割 —教師の経験年数に伴う計画的及び協働的な環境の在り方に着目して—』単著, 桜花学園大学保育学部研究紀要, 第16号, pp.45-63, 2017.10. 『保育者養成校におけるアクティブ・ラーニング活用の実態と課題に関する研究 —全国保育士養成協議会研究発表論文集を対象として—』共著, 名古屋市立大学大学院人間文化研究科人間文化研究, 第28号, pp.37-48, 2017.7. 『幼児教育・保育現場におけるカリキュラムデザインに関する一考察 —保育のグランドデザインの編成プロセスにおける構造と現実的課題—』単著, 桜花学園大学保育学部研究紀要, 第15号, pp.23-42, 2017.3. 『初任保育者が子どもとわかり合おうとする関係構築プロセス』, 単著(査読有), 保育学研究, 第54号(2), pp.71-82, 2016.12. 『保育者養成段階における保育実践力の向上に関する実証的研究 —視聴覚教材を活用した子ども理解の深化と省察プロセスの体得を目指した取組—』, 単著(査読有), 全国保育士養成研究, 第30号, pp.11-20, 2013.3. 		
所属学会	日本保育学会・日本乳幼児教育学会・日本発達心理学会・日本質的心理学会・日本教育方法学会・日本保育者養成教育学会・中部教育学会・TEAと質的探究学会・国際幼児教育学会		